営農情報

頑張ってます！ 2人の若手農業者

～今年の農業公社研修修了生

今年、いの町農業公社（旧名称　吾北村農業公社）での2年間の研修を終え、吾北地区で農業経営を始めた2名の若手農業者をご紹介します。

農業を取り巻く厳しい諸情勢のもと、山間地域である吾北地区の農業を支える貴重な人材です。皆さんの温かいご支援を、ぜひともよろしくお願いします！

◎ほ場の特徴を活かし、オンリーワンを目指す

～和田臣生さん（29歳、吾北地区・上八川小申田）

農業公社の研修を今年3月末で終え、自宅に隣接するハウス（13アール）と露地ほ場で営農を開始しました。

現在の営農体系は、ホウレンソウの周年栽培を柱とし、「ごほく名珍菜シリーズ」の中から売れ筋のものも採り入れ、これらを主に「道の駅633美の里」に出荷する直販農業です。

和田臣生さん

和田さんのほ場は村内でも標高が比較的高い所にあるため、夏場の冷涼な気候と、昼間と夜間の大きな温度差が営農上の特徴になっています。特に、夏場のホウレンソウ生産については、農業公社と検討した新品種を今年栽培したところ、うまく栽培・出荷できたため、ホウレンソウの周年栽培にもめどが立ちました。

栽培にあたっては、できるだけ化学肥料と農薬を使用しない「環境保全型農業」の実践を心がけており、これを活かして"自分だけにしかできない農業の確立"を目標にしているそうです。

道の駅「633美の里」では、早くも和田さんの野菜を指定して購入するお客さんも出てきています。また、高知市内の量販店との契約栽培・出荷の試みも始めており、今後の品目の増加も視野に入れ、日々慎重に栽培内容や方法を検討しています。

つい最近、3人目のお子さんが誕生し、ますます営農に力が入る和田さんです。

◎本格的施設イチゴ経営、攻めの営農で頑張る

～山本　亮さん（34歳、吾北地区・小川新別）

農業公社の研修を今年6月末に修了し、農業公社に隣接する約30アールの農地を借り受け、ハウス（20アール）を新設して営農を開始しました。

現在の営農体系は、新しい技術の「高設養液栽培システム」による施設イチゴ専作で、市場性が高く、高品質のイチゴの生産を目指しています。

山本　亮さん

山本さんは大阪府出身で、大消費地の消費者の視点を持ち、また、大阪市内の民間企業で管理職を務めていた経験から、"経営"に関する数字にも精通しているという強みを持っています。

営農開始までの準備期間は、資金面や労力面など、本当に苦労し大変でしたが、今年9月に苗の定植を終え、ようやく日々の栽培管理に集中できるようになってきました。吾北地区のイチゴ生産部会では、農協出荷によるイチゴ生産量がまだまだ少ないため、今回新たに吾北イチゴ部会に加わった山本さんは、部会にとっても非常に大きな力となっています。

これからの目標は、「できるだけ早くイチゴ栽培による経営を軌道にのせ、自分の理想とする究極のイチゴ作りを研究していきたい」とのことでした。

今年1歳になる息子さんの笑顔を見て目を細めながら、今日も作業に汗を流しています。

農業研修生募集中!! いの町農業公社

いの町農業公社では、平成16年度中に研修を開始する農業研修生を募集しています。くわしくは、左記へお問い合わせください。

【受付・面接】随時実施
【研修内容】施設野菜栽培、露地野菜栽培、高設養液栽培、育苗、パソコン農業簿記等
【研修場所】いの町農業公社・吾北育苗研修センター
【研修期間】2年間
【年　齢　等】おおむね45歳以下（営農内容によっては45歳以上でも可。また、既就農者でも可）
【問い合わせ先】いの町役場吾北総合支所　産業課（農業公社事務局）☎867－2313